

「分娩方法選択の経験」に関する インタビューへのご協力をお願い

私は、聖路加国際大学大学院修士課程2年の近藤せいと申します。現在、大学院で遺伝看護を学んでいます。これまで大学病院やクリニックで助産師として妊娠期から産褥期にある様々な体質をもつ女性やそのご家族の方に関わらせて頂きました。その経験から、現在「血友病保因者の分娩方法選択における経験」というテーマで研究をしています。

保因者の方の分娩方法は、現在、専門家により「赤ちゃんにとって負担の少ない方法で行う」という指針が示されています。実際の現状としては、保因者の方とご家族、医療者で経膈分娩と帝王切開のそれぞれの方法のリスクやメリットなどを話し合い、決定されています。そのため、保因者の方により分娩方法が異なることが医療者の報告から明らかとなっております。しかし、保因者の方が分娩方法を選択するにあたって、どのような思いを抱き、どのような経験となっているのかということは研究がされていません。そこでインタビューにより保因者の方の分娩方法選択の経験を知ることにより、その際に必要な支援への手掛かりが得られるものと考えております。

【インタビューをお願いしたい方（下記の2つの条件を満たす方）】

- 血友病の保因者の方（保因者の可能性がある場合でも結構です）
- 保因者であることを理解した中で、お子さんの出産を経験されている方
（お子さんの性別、年齢、出産の方法・病院、ご自身の年齢などは問いません）

【インタビューの内容】

- 時間：1時間程度
- 方法：対面 または オンライン（ZOOM）のどちらかご希望の方法で行います
- お伺いする内容：ご自身とご家族のこと（年齢やご関係、血友病の状態など）
ご自身が妊娠・出産されたときのこと
ご自身が保因者と知ってから今までのこと

研究の詳細は、Google フォームでご覧頂けます

（右のQRコードまたは下のURLからアクセスしていただくことができます）

- ・アクセスできない場合には、研究者に直接メールでご連絡をお願いします
- ・研究の詳細をご覧いただき、ご協力いただける方はGoogleフォーム内の「研究への参加希望」にチェックをして、「送信」を押してください
- ・ご質問がありましたらお気軽に研究者までメールでご連絡をお願いします
- ・URL→<https://forms.gle/S8wiAV18ecVDs9XX6>



【お問い合わせ先】

聖路加国際大学大学院看護学研究科 遺伝看護学専攻
研究者：近藤せい E-mail：20mn015@slcn.ac.jp
指導教員：青木美紀子（聖路加国際大学 遺伝看護学准教授）

